

平成29年度
巡回展

栃木の遺跡

— 最近の発掘調査成果から —

みんな
見に来てね

埋もれていた、いにしえのメッセージ
今年も発信します！



刈沼遺跡(宇都宮市)出土土版

栃木県立博物館

平成29年 7月22日(土)~9月3日(日)

栃木県宇都宮市睦町2-2/TEL 028-634-1311 休館日:月曜日(祝日の場合は開館)、祝日の翌日(土・日曜日の場合は開館)

栃木県埋蔵文化財センター

平成29年10月15日(日)~12月10日(日)

栃木県下野市紫474/TEL 0285-43-1971

休館日:土曜日・祝日(祝日が日曜日の場合は開館、翌日が休館)

なす風土記の丘資料館

平成30年 2月10日(土)~4月 1日(日)

休館日:月曜日(祝日の場合は開館)、祝日の翌日(土・日曜日の場合は開館)

第一会場 那珂川町なす風土記の丘資料館 栃木県那須郡那珂川町小川3789/TEL 0287-96-3366

第二会場 大田原市なす風土記の丘湯津上資料館 栃木県大田原市湯津上192/TEL 0287-98-3322

かりぬま いせき

刈沼遺跡(主な時代:縄文)

住居跡や穴が約 90mの環状に展開する集落跡です。土器や石器、マツリに使う道具などが大量に発見されました。石斧なども作っていた、地域の中核的なムラであることが分かりました。

共通展示遺跡

みの わじょうあと

箕輪城跡(主な時代:弥生)

しろ あと

城跡の近くから、集落跡が見つかりました。古墳時代はじめのころの住居跡からは、弥生土器が出土し、時代が変わっても弥生土器を使い続けていたことが分かりました。

おちうち いせき

落内遺跡(主な時代:古代) ↓

しもつけやくじ じ あと にしべい

下野薬師寺跡の西堀外側の地域を発掘し、奈良時代初期の役所に似た掘立柱建物跡などが確認されました。出土品には、糸束が残っている銅製の器や、古代のカギなどがあります。

くろばかま だい くろばかま まえ いせき

黒袴台・黒袴前遺跡(主な時代:古墳) ↑

よこあな

37基の後期古墳群のうち7基を調査。横穴式石室からは、鉄製の刀やヤジリ、ガラス製の小玉、金銅製の耳環が出土。出土した須恵器は、黒袴前遺跡で焼かれました。

さぬきせきぶつ していちないいせき

佐貫石仏指定地内遺跡(主な時代:中世)

南を向いて座る18.2mの磨崖仏の前面から、段を作っていたと見られる石列と、東西に長い掘立柱建物跡が見つかりました。石列の前からはお賽銭も出土しています。

